

平成31年度 予算

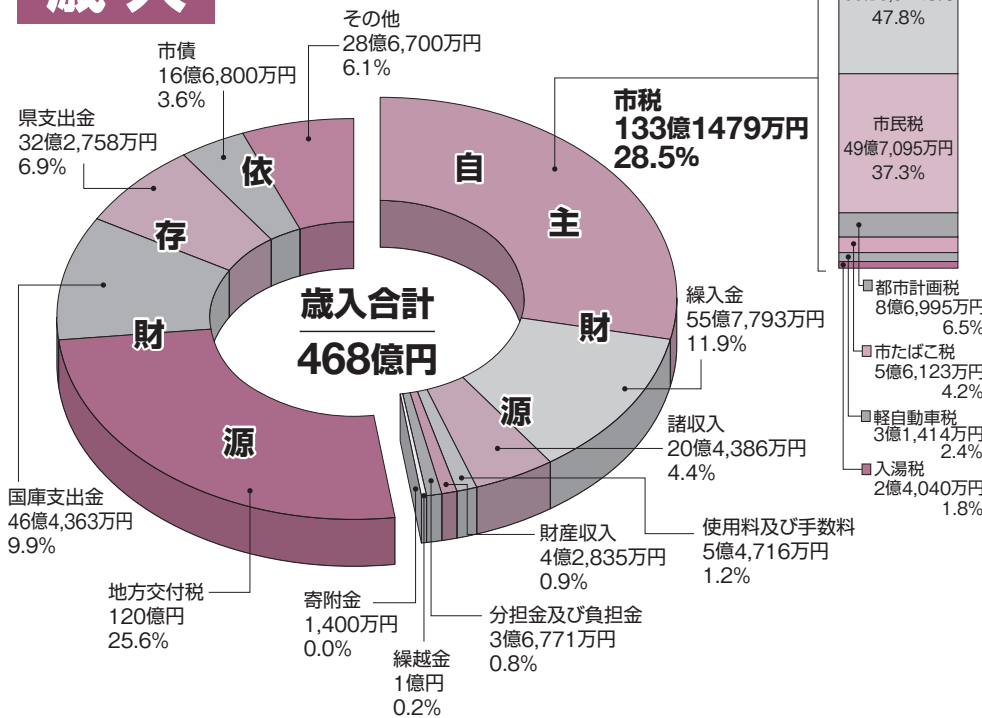
人と自然、そして文化がおりなす 活力とやさしさがあふれる 飛驒高山を目指して



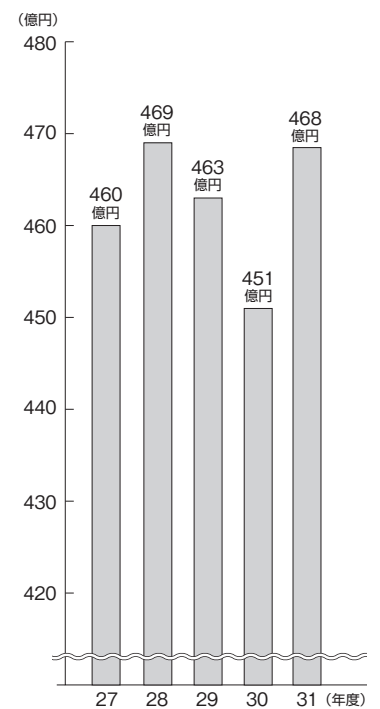
総額756億円のあらまし

市では、2月26日から開会した市議会定例会に、一般会計468億円、特別会計・企業会計288億円余の平成31年度予算案を提案しました。

歳入



●一般会計当初予算の推移



新年度予算案のポイント

平成31年度は、5月には、新天皇が即位され、新しい時代の幕開けを迎えるとともに、第八次総合計画基本計画の5年目として計画期間前半の総括と、後半に向けた見直しを行う年度となります。

こうした中、平成31年度予算は、本市の都市像である「人・自然・文化がおりなす活力とやさしさのあるまち飛驒高山」の実現に向けた取り組みをしっかりと継続し、「希望ある輝くまち高山」の実現に向けた予算配分を行いました。

特に平成31年度は、幼児教育の無償化や学校給食の保護者負担の軽減、新宮小学校・丹生川中学校の長寿命化工事、教育用パソコンのタブレット化、プログラミング教材の購入、前年度からの繰越事業である小中学校普通教室へのエアコン設置など子どもを取り巻く教育環境の充実と、昨年の豪雨、台風災害を教訓とした防災体制の強化を図るほか、支所地域も含めた都市基本計画（都市マスタープラン）